

市町村がん検診の実施状況

○令和2年度市町村がん検診プロセス指標について

- ◆胃がん検診プロセス指標
- ◆肺がん検診プロセス指標
- ◆大腸がん検診プロセス指標
- ◆乳がん検診プロセス指標
- ◆子宮頸がん検診プロセス指標

○令和2年度市町村がん検診実施状況【確定値】

- ・令和2年度 市町村胃がん検診実施状況【確定値】全住民
- ・令和2年度 市町村胃がん検診(X線)実施状況【確定値】全住民
- ・令和2年度 市町村胃がん検診(内視鏡)実施状況【確定値】全住民
- ・令和2年度 市町村肺がん検診実施状況【確定値】全住民
- ・令和2年度 市町村大腸がん検診実施状況【確定値】全住民
- ・令和2年度 市町村乳がん検診実施状況【確定値】全住民
- ・令和2年度 市町村子宮頸がん検診実施状況【確定値】全住民

○令和2年度国保がん検診受診率

●市町村におけるがん検診対象者数の変更について

～平成29年度分は、**推計対象者数**を採用

国立がん研究センターが算出する推計対象数＝住民全体から職域がん検診受診可能者を除く



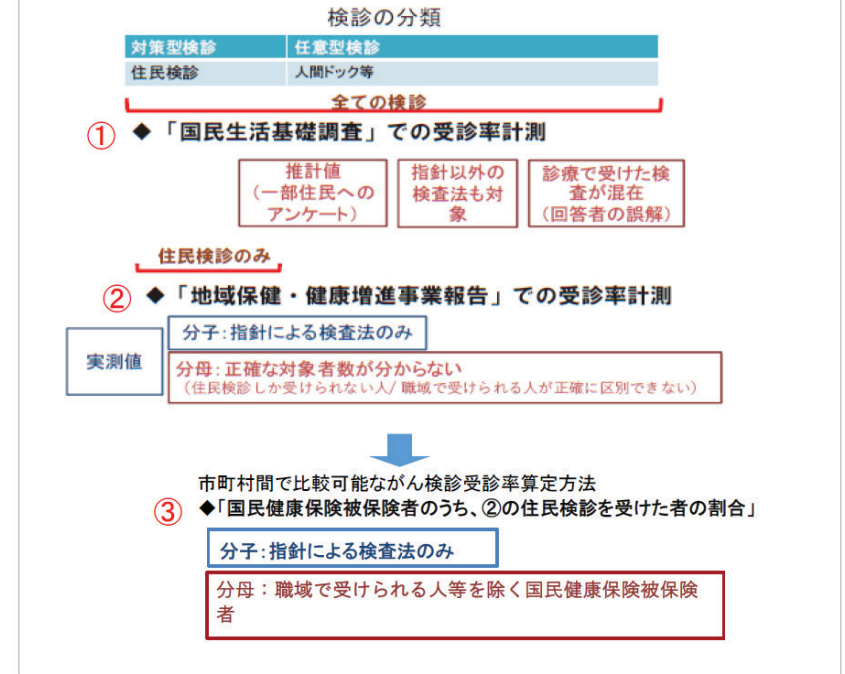
平成30年度分より、**全住民及び国民健康保険被保険者数**を採用

※「がん検診受診率等に関するワーキンググループ報告書」において、市町村間で比較可能ながん検診受診率算定方法として「国民健康保険被保険者のうち市町村事業におけるがん検診を受診した者の割合」が提案された。

がん検診受診率の把握方法について

令和2年度全国がん検診指導者研修資料より

受診率の把握方法



<参考> ②、③住民検診について

●受診率

- ・受診率(胃がん、乳がん、子宮頸がん)＝((前年度の受診者数)+(当該年度の受診者数)-(前年度及び当該年度における2年連続受診者数))/(当該年度の対象者数*)×100
- ・受診率(肺がん、大腸がん)＝(当該年度の受診者数)/(当該年度の対象者数*)×100
- *対象者数は、年1回行うがん検診の場合と同様の考え方で算定する。

●受診率等における対象年齢

- ・胃がん50～69歳、肺がん・大腸がん・乳がんは40～69歳、子宮頸がんは20～69歳とする。
- ・プロセス指標(要精検率・精検受診率・精検未受診率・精検未把握率・がん発見率・陽性反応適中度)は40～74歳(子宮頸がんは20～74歳)を対象として算出する。